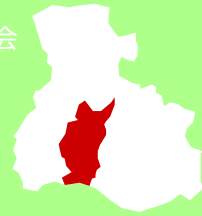


# HariMaga

は り ま が

中播磨地域ビジョン情報誌 発行：中播磨地域ビジョン委員会



Vol.15



自然豊かな中播磨部会の活動風景



## Contents

- 中播磨地域夢会議 ..... P1
- 中播磨地域力指標 ..... P2
- 各部会グループ活動レポート ..... P3~6
- 中播磨の地域力紹介 ..... P7
- 中播磨イベント情報 ..... P7



# 中播磨地域夢会議を開催しました。

平成27年12月13日(日)兵庫県立ものづくり大学校で、中播磨地域夢会議を開催しました。

「未来へつなごう ふるさと中播磨」をテーマに、中播磨地域ビジョン委員や住民など111名が地域の「宝」を活用して、若者も参加した地域づくり活動について話し合いました。

**第1部** では、熊谷哲兵庫県立大学教授より「里山整備による地域資源の再生」と題し、はりま里山研究所の活動を中心に基調講演いただきました。その後、地域づくり活動について話し合う、ワークショップを10グループに分かれて行いました。

**第2部** では、金澤副知事を交え、各グループの意見を発表し、地域づくりについての意見交換を行いました。



参加者全員で「地域の宝」について意見を出し合いました

## ●コメンテーターのみなさんのコメント



### 三村委員長

地域の宝は、歴史・文化だけでなく、私たちの身近にあるものも地域の宝であると感じました。

そして、地域資源(地域の宝)を継承していく上で、人材も貴重な地域の宝であると再認識しました。客観的な視点も持ちながら、エネルギーと行動力のある若い人たちも参加し、地域の人々が世代を超えて一致団結して地域に根ざした活動に取り組むことが必要であると感じましたし、地域づくりに大切なのは、場づくり、人づくり、継続が大事であると改めて思いました。



### 兵庫県立大学人間環境学部 熊谷教授(はりま里山研究所理事長)

地域の宝は、そこに住む人は評価していないが、遠くから見ると値打ちの有るものが多々あり、外からの目を入れて再発見することも必要なことと思っています。グループワークの発表を聞いて、文化の多様性がやはり大事です。それぞれの地域に根ざした文化が地域の特徴であり、宝でもある。最近グローバル化と言われているが、グローバル化は世界のスタンダードにならうことではない。そうなると、地域の文化は消えてしまう。このようなことを考えながら、地域の宝を見直すすとすばらしいものが出てくると思います。

地域夢会議で、夢を語るだけで無く、実現させていくことが大事です。地域資源を発見するだけでなく、地域資源を育て、何らかの収入を得られるよう、もう少し夢から実現へと転換することができれば、地域夢会議も先が見えてくると思います。



### 兵庫県金澤副知事

2点コメントします。まず、今年の「兵庫の豊かさ指標」県民意識調査では、「観光などの訪問客が増えている」「駅前や商店街に活気が感じられる」「外国人を見かける機会が多い」と思う人の割合は、中播磨地域が県下で1番です。また、「企業の活動や工場・会社の進出により活性化している」、「農林水産業に活気が感じられる」は2番で、中播磨地域は、全体として非常に元気な方向に代りつつあると思っている人が多い結果となっています。黒田官兵衛や姫路城グランドオープンなど様々な追い風を受け止め、パワーに替えて現実のまちづくりに生かして欲しいと思います。

次に、若者の気持ちや、地元・地域・ふるさとに向くようにすることが、地域創生の取り組みと考えています。行政の力も大切ですが、地域・ふるさとの中から若者に伝えていくことが大事と思っています。それぞれの地域の多様性を大切にすることは、ビジョンの皆さん議論の思いと共通と考えています。行政としてできることは、県・市町が連携して取り組んでいきますので、みなさんには、これからも中播磨地域を引っ張ってください。

みんなでビジョンの実現状況を確認しよう

# 中播磨地域力指標

## － フォローアップ指標 －

ビジョンを実現する地域の力を測る「ものさし」です。  
みんなで一緒に点検・評価していきましょう。



地域ビジョン4つの“夢”に沿った34項目で、ビジョンの進捗状況をチェックします。住民のみなさんに地域課題や生活の実感等を尋ねる「兵庫の豊かさ指標」県民意識調査の結果などを活用。実感（主観）を重視した指標です。今回の調査では、20項目が前年を上回りました。特に「観光などの訪問客が増えている」、「外国人を見かけたり外国人と接したりする機会が増えている」と思う人の割合が、前年から10ポイント以上上昇しています。

4つの“夢”	県民意識調査等指標群	H27	前年との比較
希望が育つ中播磨 子どもが元気に育つ、 つながりのある地域	・住んでいる地域は子育てがしやすいと思う人の割合	49.2%	➡
	・住んでいる地域の子どもは伸び伸びと育てていると思う人の割合	64.6%	↑
	・住んでいる地域では、心の豊かさを育む教育や活動が行われていると思う人の割合	38.5%	↑
	・地域をより良くしたり、盛り上げたりする活動に参加している人の割合	35.9%	↑
	・ボランティアなどで社会のために活動している、またはしてみたいという人の割合	42.5%	↑
	・住んでいる地域で、異なる世代の人とつきあいがある人の割合	54.4%	➡
	・若者が希望を持てる社会だと思ふ人の割合	17.0%	↑
	・目的をもって学んでいるものがある人の割合	43.8%	↑
安全安心中播磨 みんなが安心して 暮らせる地域	・異なる世代の人が集える地域交流の場がたくさんあると思う人の割合	26.5%	↓
	・住んでいる地域は高齢者にも暮らしやすいと思う人の割合	48.0%	↑
	・住んでいる地域は障害のある人にも暮らしやすいと思う人の割合	27.3%	➡
	・かかりつけの医者がある人の割合	66.5%	↓
	・健康づくりに取り組みやすい環境が整っている地域だと思ふ人の割合	50.8%	↑
	・心身ともに健康であると感じる人の割合	67.0%	↑
	・住んでいる地域で災害に備えた話し合いや訓練に参加している人の割合	29.9%	➡
	・住んでいる地域は治安が良く、安心して暮らせると思ふ人の割合	80.1%	↑
自然豊かな中播磨 自然環境の営みを 大切にす地域	・ごみの分別やリサイクルに取り組んでいる人の割合	90.3%	➡
	・再生可能エネルギーを導入（太陽光パネルの設置など）している、もしくはしたいと思ふ人の割合	29.2%	↑
	・製品を購入する際に、環境に配慮したものを選んで思ふ人の割合	60.0%	↓
	・日頃から節電に取り組んでいる人の割合	76.9%	➡
	・住んでいる市・町では、自然の生き物（動物・植物）とふれあう機会があると思ふ人の割合	33.0%	↑
	・住んでいる市・町の自然環境は守られていると思ふ人の割合	40.4%	↑
	・山林や川、海などの自然環境を守るための取組みに参加している人の割合	13.6%	↓
	・地元や県内でとれた農林水産物を買っている人の割合	71.3%	↓
元気交流中播磨 にぎわいと交流の 元気な地域	・住んでいる市・町に観光などの訪問客が増えていると思ふ人の割合	76.4%	↑
	・住んでいる市・町では、外国人を見かけたり、外国人と接したりする機会が増えていると思ふ人の割合	53.1%	↑
	・自慢したい地域の「宝」（風景や産物、文化など）がある人の割合	62.0%	↑
	・銀の馬車道など地域の資源を大切に、歴史や文化を子どもたちに伝える取組に参加したいと思ふ人の割合	30.7%	↓
	・銀の馬車道関連事業年間入込客数	504千人	↓
	・銀の馬車道関連商品数	152商品	↑
	・住んでいる市・町の駅前や商店街に、活気が感じられると思ふ人の割合	31.8%	↑
	・住んでいる市・町は、新しい事業を始めたり、新しい製品などを生みやすいと思ふ人の割合	13.3%	↑
	・性別や年齢を問わず、働きやすい環境が整っていると思ふ人の割合	11.9%	↑
	・しごとと自分の生活の両立ができていると思ふ人の割合	65.9%	↓



# 中播磨地域ビジョン委員会

## 希望が育つ中播磨部会

わたし達の部会は、子育て支援を主な目的としながらも、子どもや子育て世代だけではなく、支援を必要としている様々な世代の方を見守り手助けすることを目指して活動してきました。

### 平成26年度の主な活動

- 7月 兵庫県立大学環境人間学部「げんきっこ新在家」見学
- 8月 はりま里山研究所「里山プレイパーク」見学
- 9月 絵本読み聞かせぐるーぷ「はこべ」見学
- 11月 神戸市総合児童センター「こべっこランド」、  
「神戸生活創造センター」見学
- 12月 福崎町「ふくさき日本語サロン」見学
- 1月 豊富町「子育て支援講演会」受講
- 2月 ボーネルンド「キドキド」見学

1年目の活動を通して、様々な地域で子育て支援活動をしている方と、それに参加している方にお話を伺うことが出来ました。それにより、双方が情報の共有や収集の難しさを感じていることが分かりました。そこで、2年目は「情報」をテーマに活動をおこないました。



読み聞かせグループ  
「はこべ」さんの  
人形劇

### 平成27年度の主な活動

- 8月 「みんなであそぼう」  
in げんきっこ新在家」開催
- 8~10月 「子育て支援情報の収集についてのアンケート」実施
- 11月 「地域活動交流メッセ」出展
- 12月 「子育て井戸端会議」開催
- 1月 「子育て支援情報の収集についてのアンケート」報告書作成

イベント会場などでアンケートを実施し、子育て中の方65名に回答して頂きました。12月に実施した「子育て井戸端会議」では、子育て支援活動をしている方、子育て中の方、地域活動をしている方など、合わせて23名が参加し、貴重な意見交換の機会をつくることができました。様々な世代の方の話が聞けたことがよかったという感想が多くあり、情報共有には直接話をする井戸端会議のような場が効果的であることがわかりました。



「子育て井戸端会議」には子育て世代だけでなく孫育て中の皆さまにもご参加いただきました



地域活動交流メッセでは  
ストロー工作と大型絵本のブースを出展

## 安全安心中播磨部会

### 2年間の活動を振り返って

1年目のテーマ『高齢者の健康づくり』では、体力測定を通して各地区のみなさんのたくさんの笑顔を見ることができました。委員も、参加された方々との会話や交流により、日々の生活の中で、自らの健康に対する心がけと、人との関わりの大切さを実感した。

2年目には『防災意識の向上』をテーマに活動し、委員全体に呼びかけ普通救命講習会を開催、県の広域防災センターを見学するなど防災意識の向上に繋がった。また、部会で「自助・共助」の勉強会や段ボールを使用した非常用トイレの作成を行い、交流メッセにて展示することで参加者の意識がより一層高まったものと実感する。

### 平成27年度の主な活動

#### ●兵庫県広域防災センターの見学 (9月18日)

地震体験車で過去実際に起きた大地震の再現や、耐熱耐煙訓練室で火災発生時の避難の難しさを体験させてもらいました。

また、【三木総合防災公園】のスタジアム地下にある備蓄倉庫も見学させてもらいました。



#### ●勝原校区 体力測定会 (10月24日)

今年度も体力測定会のお手伝いをさせていただきました。

#### ●中播磨地域活動交流メッセ (11月15日)

非常時段ボールトイレの作成会・展示会を行いました。



#### ●第3回普通救命講習会 (12月11日)

3回目の講習会は少人数での開催だったため、練習時間が増え参加した委員ひとりひとりが疑問に感じたことをじっくり質問することが出来ました。





# 中播磨地域ビジョン委員会

## 自然豊かな中播磨部会

26年度活動として、自然群生である「のじぎくの植生を通じ美しい街づくり」「自然循環エネルギーの学習」「環境美化活動」および「廃材を利用した工作」など「循環」をテーマに研修を行い、27年度はその「実践活動」を通じ研鑽を深めた。

### 平成26年度の主な活動

- 中播磨地域活動交流メッセ  
(姫路港ふれあいフェスティバル)



- 環境学習会  
「地域住民の力で小水力発電」  
古谷桂信先生による講演

- エネルギー見学研修会で森永乳業株式会社及び  
神戸市東水環境センターを見学



### 平成27年度の主な活動

- のじぎくの堆肥づくりから定植へ

天然材料を使った飼料と、購入した加工飼料の両方を使い、のじぎくの育成状態を調査実験を行った。その結果、甲乙つけがたい結果となったが、水遣り、ブロック塀の横に置いた場合の熱影響など、いろいろな条件により、育成状況は異なることが分かった。自然を豊かにする実験として貴重な体験となった。



- 11月4日 里山研修会

自然部会として、里山を知ることにより、自然の素晴らしさ・美しさを体感するために研修会を行い、これからの活動のさらなる向上を目指した。



- 9月26日 潮風クルーズ

中播磨の自然界の一部であるが、ヨットによる海上から見学し、中播磨の自然環境の素晴らしさ、また、この環境を次世代に残すため、自然部会としての活動を考える機会とした。



- 10月25日  
国際交流  
フェスティバル



- 11月15日  
地域活動交流メッセ





## 元気交流中播磨部会

### 歴史と文化グループ

中播磨地域で未来に継承する歴史・文化などについて、2年間「銀の馬車道」をキーワードに現地へ足を運んで調査研修してきました。また、地域の活性化を目指して「中播磨地域まちづくり交流フォーラム」を神崎郡神河町で開催するとともに、神崎都市川町で開催された「交流メッセ」では活動内容を写真展示して紹介・PRしてきました。

現地研修した年度と行先は、下記のとおりです。

- 平成26年度：姫路市船津町、神崎郡福崎町、神崎都市川町
- 平成27年度：神崎郡神河町、姫路市飾磨地区、姫路市御国野地区

今後は、この2年間で現地研修したことをどう活かしていくのかが大きな課題です。



▲交流メッセで写真を展示



▲飾磨津物揚場跡にて



▲生野峠で銀の馬車道の説明を受ける



▲牛堂山国分寺にて

### 食と産業グループ

2年の活動を通して、中播磨地域の豊かな食と、古くから続く伝統的な産業や新しく成功している産業について研修会を行い、自分たちの住む地域の素晴らしさを再発見しました。そして、私たちが見つけたたくさんの【中播磨地域の宝】は対談会の開催や交流メッセでの無料試食の配布、バス研修会の実施によって、地域住民にひろく周知することができました。



27年度の交流メッセでは、ゆるキャラ「たけやん」と一緒に太市の筍と神河町の赤田米をPR。来場者に筍ごはんを無料配布しました。



「銀の馬車道を産業で巡るバスツアー」を開催。光洋製瓦の笹田代表取締役から地域に根付く産業の秘訣や、生野銀山のボランティアガイドの方から歴史に残る産業について学びました。



# 中播磨イベント情報



イベント名	開催場所	開催日	問い合わせ先(電話番号)	
ひまりん朝市	市川町文化センター	毎月第2土曜日	市川町観光協会	0790-26-1040
企画展「柳田國男の「妖怪談義」～妖怪なぞとき話～」	柳田國男・松岡家記念館	3月5日(土)～3月31日(木)	福崎町教育委員会	0790-22-1000
企画展「マップを持って出かける文化財めぐり」	神崎郡歴史民俗資料館	3月5日(土)～3月31日(木)	福崎町教育委員会	0790-22-5699
砥峰高原山焼き	砥峰高原	3月下旬	とのみね自然交流館	0790-31-8100
ひめじくるめらんど	大手前公園	4月上旬	ひめじくるめらんど実行委員会	079-221-2506
姫路城夜桜会	姫路城西の丸庭園	4月1日(金)～4月7日(木)	姫路市観光振興課	079-287-3652
第31回姫路城観桜会	姫路城三の丸広場	4月2日(土)	姫路城イベント実行委員会	079-287-3652
第10回民俗辻広場まつり	福崎町第1グランド駐車場周辺	4月9日(土)	福崎町	0790-22-0560
桜華園さくらまつり	桜華園	4月中旬	神河町観光協会	0790-34-1001
書写山新緑まつり	書写山	5月3日(火・祝)～ 5月5日(木・祝)	姫路市観光振興課	079-287-3652
第67回姫路お城まつり	姫路城周辺	5月20日(金)～5月22日(日)	姫路お城まつり奉賛会	079-287-3652
市川町消防操法大会	川辺小学校グラウンド	5月下旬	市川町消防団	0790-26-1011
新野水車まつり	新野水車の郷	5月下旬	神河町観光協会	0790-34-1001
姫路ゆかたまつり	長壁神社・城南公園・商店街周辺	6月22日(水)～6月24日(金)	姫路ゆかたまつり振興協議会	079-287-3652
姫路みなと祭	姫路港	7月下旬	姫路みなと祭協賛会	079-221-2504
市川まつり	市川町文化センター	8月上旬	市川まつり実行委員会	0790-26-1010
第37回山桃忌 8/6 第1部「山桃忌と妖怪」 8/7 第2部「安芸高田の神楽上演(仮)」	エルデホール	8月6日(土)・8月7日(日)	福崎町教育委員会 (社会教育課)	0790-22-0560
第3回柳田國男検定	福崎町文化センター	8月7日(日)	福崎町教育委員会	0790-22-1000
お夏・清十郎まつり	野里・慶雲寺周辺	8月9日(火)	お夏・清十郎顕彰會事務局	079-223-3750
第43回福崎夏まつり	福崎東中学校校庭	8月9日(火)	福崎町	0790-22-0560

## 「桃色吐息」

歌のタイトルではありません。

姫路で、「桃色吐息」と言えば、平成24年に誕生したブランド豚のことですよ。

「桃色吐息」の豚は、トウモロコシ、大麦などの他、地域で発生したパスタ、洋菓子などを独自でブレンドし飼料として与えており、また、ストレスの少ない清潔な施設で、通常より長い期間をかけて育てているため、免疫力が高く健康なお肉です。

肉は成熟した旨味があり、加熱しても柔らかく食べられ、脂肪はさっぱりと口溶けが良いと好評を得ています。特に、豚肉特有の臭みがないことから、女性におすすめです。



桃色吐息の定義  
〔兵庫県認証食品〕を取得しています。〕

- ①兵庫県生まれ、姫路育ちの三元豚
- ②豚肉本来の能力を発揮させるため、枝肉重量85kg以上且つ背脂肪は豚枝肉取引価格の中等級(2.7cm以下)の範囲内
- ③姫路市近郊のエコフィードを活用した飼料を7割以上給与

### エコフィードとは

食品製造過程の副産物、賞味期限切れなどの食品残さを原料として加工処理されたりサイクル飼料のこと

情報誌に対するご意見  
ご感想などのご連絡先

中播磨地域ビジョン委員会事務局  
〒670-0947 姫路市北条1-98

兵庫県中播磨県民センター県民交流室総務防災課  
電話(079)281-9053 FAX(079)285-1102  
メール: nkharimakem\_04@pref.hyogo.lg.jp